はらぺこあおむし新聞

発行者
出雲市立西野小学校
三年
嘉藤光里

チョウびっくり!!ハチあわせ

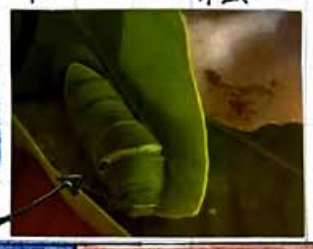
チョウの幼虫の飼育

理科の授業でチョウの幼虫を育てることになりました。6月2日 庭のミカンの木に黒い虫がいました。調べたら「ナミアゲハ」の幼虫だとわかり、「ナミ」と名付けることにしました。6月3日 ナミを学校につれて行きました。葉にくっついて、ほとんど動きません。6月4日 朝見るとナミは青虫になっていました!!

6月6日 ナミはよく食べてどんどん大きくなります。絵本の「はらぺこあおむし」みたいです。わりばしにのぼったり、葉にかくれたりしています。6月8日 長さは変わらず太くなりました。

本当の目を守るためらしい

これは目じゃないよ



6月10日 しいく箱のすみに止まって動かなくなりました。

6月11日 同じ所に止まったままでした。顔の部分が大きくなりしっぽが細くなりました。たくさんの白い糸で体を固定しています。

6月12日 朝、さなぎになっていました。10日から2週間くらいで羽化するようなので、とても楽しみです!!

しかし ショウゲキの二週間後

6月25日 ナミのしいく箱に、どうしてハチがいるの?さなぎに穴があいている…からっぽ…ナミはどこ?

何がおきたのかわからない…

豆ちしき

実は 卵からチョウになる確率はたったの0.6~2%です。

広島市森林公園こんちゅう館のくがさんが『蝶の生態「学」始末』(共立出版)にのっていると教えてくれました。

寄生するハチ
~アゲハヒメバチ~

出典:昆虫のふしぎ/ポプラ社より

エピソード0 私がナミに会う前に

チョウのナミではなく、出てきたのはアゲハヒメバチでした。私も家族もすごくショックでした。ハチはお父さんとにがしました。でもナミのいた、しいく箱は5か月たった今も片づけられずに、そのままになっています…。

糸もまだある…

今の私は

今回ナミを飼育するまで私は、青虫はさなぎになって、チョウになると信じていました。でもこれが自然のきびしさで、ハチからすると生き残る強さだとわかりました。来年はミカンの葉をしっかり見て、卵の時に見つけたら、今度こそチョウになってくれるかな!!